科目ナンバリング	U-LAS03 10003 SB48						
授業科目名<英訳>	外国文献研究（文・英）B-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)B-E1			担当者所属職名・氏名	文学研究科　教授　　廣田　篤彦		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	水1	配当学年	2回生以上	対象学生	文系向

[授業の概要・目的]

英語で書かれた戯曲の講読を通じて、以下を習得する。
１）英語（アメリカ英語）の読解力
２）台詞とト書きから構成される戯曲テクストの読み方（英語以外の西洋演劇を読む際にも応用できる）
文字テクストを読みながら、舞台設定、事件が起こる状況、登場人物の考え、役者の動きを同時に理解できるようになることが最終的な目的である。

[到達目標]

・文学に関する教養を深めることができるようになる
・英文のニュアンスを会得することができるようになる
・文字で書かれたテクストを読みながら登場人物のおかれた状況を正確に想像できるようになる

[授業計画と内容]

第1週　Introduction（授業の進め方、テキストについての解説）

第2～14週
11回の講読と2回の試験を行う

・試験の実施週は講読の進度に応じて授業開始後に決定するが、予告なしに行うので注意すること。進度によっては講読と試験を同一回に行うこともありうる
・11回の講読の予定は以下であるが、受講者の人数と経験、能力、またテクストの難易度により進度は変化するので適宜調整する。毎回希望者を募り、指名された担当者は概ね2ページを担当する。英文の音読、内容の要約、和訳、質疑応答を繰り返す。

1. 1-6 ページ
2. 7-12 ページ
3. 13-19 ページ
4. 20-25 ページ
5. 26-32 ページ
6. 33-38 ページ
7. 39-44 ページ
8. 45-50 ページ
9. 51-57 ページ
10. 58-63 ページ
11. 64-70 ページ

試験期間中の学期末試験は行わない

外国文献研究（文・英）B-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献研究（文・英）B-E1(2)

第15週　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

・平常点（授業中の個別の担当に関する評価40%、授業中の全体に対する質問に対する反応10%）と授業中に実施する試験2回（各25%）で評価する

少なくとも一度は授業中に担当していないと評価の対象にならない

[教科書]

Arthur Miller 『Incident at Vichy』（Penguin Modern Classics, 2009）ISBN:978-0141190020（**授業中随時参照するので、必ずこの版を入手すること**）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

・毎週の予習分量は6頁程度の予定
・戯曲の舞台となっている時代、場所についてあらかじめ調べて授業に臨むこと
・映像資料が手に入る場合は積極的な活用を勧める
・授業後は毎回読んだ部分について整理し、十分に理解した上で次回に臨むこと

[その他（オフィスアワー等）]

履修定員を４５名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。
なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。
１．文学部の４回生（所属系は問わない。）
２．文学部西洋文化学系の２・３回生
３．上記系以外の文学部２・３回生
４．文学部以外の学生

[主要授業科目（学部・学科名）]